

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 3 年 11 月 2 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021～22 年度
国際ロータリー会長
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



第 2925 例会
第 2514 号

2021.7～2022.6

会 長 森本博明
副 会 長 北村公一
幹 事 小川佳伸
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日（11月2日）のプログラム

次回（11月16日）のプログラム

探偵物語 ～女流探偵の黄昏（たそがれ）～

「私の研究について」

大阪そねざき RC 岸本 美智子 様

米山奨学生：パストラ・ススミタ

卓 話 担 当：岩本 洋子

☆会長の時間☆

「地区社会奉仕委員長会議に ZOOM 参加させていただいて」

2021-22 年度 会長 森本博明

10 月 23 日（土）14：30～16：30 に国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度クラブ社会奉仕委員長会議に ZOOM にて参加させていただきました。

会議では活動報告が紹介され、前年度地区社会奉仕委員会委員長の森垣佳子様「地区で学んだこと ～私の考える社会奉仕の基本～」について、先ず第 2660 地区ホームページの中にロータリアンの皆様に平等に情報共有できる機会を提供することを前提にホームページを立ち上げられました。

その中で内容は大きく 3 つのことでした。1 つ目は社会奉仕事業の引継ぎ、2 つ目として協働クラブの募集、そして 3 つ目がロータリークラブ以外の外部団体との協働の募集についてのお話でした。それとパソコンの検索サイトで「2660」と入力すると地区ホームページにすぐ入れるという事でした。私も後日試みますと、いとも簡単にアクセス出来ました。ご存知の方も多数いらっしゃると思いますが、この機会に是非試して下さい。

続いてクラブ社会奉仕活動のご紹介で「with コロナ時代の社会奉仕活動～事例と考え方～」について副委員長山崎修一様（大阪鶴見 RC）の活動事例のお話。

そして「コロナ禍における奉仕活動」について委員澤田宗久様（大阪船場 RC）の事例紹介がありました。内容は 30 年前からフィリピンに対しての医療活動についてのお話。歯ブラシ、文房具などを送られたことのお話と現地の動画を見ました。大変感動的な映像とお話でした。澤田様は「ロータリーは人づくりである、四つのテストが重要、ロータリーの最終目的は世界平和だと思います。人類は共存共栄が大事である。」とおっしゃいました。私もその通りだと思い感銘いたしました。この社会奉仕委員長会議も詳しくは後日 2660 地区のホームページに動画掲載されますので是非ともご確認ください。

また 11 月はロータリー財団月間です。1917 年 6 月にアトランタ（米国ジョージア州）ロータリー年次大会の演説で、アーチ・クラフ会長が、「世界で良いことをする」ための基金の設置を提案されました。それがロータリー財団のスタートです。今後ともロータリー財団への支援もよろしく願いいたします。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時（土日祝を除く）

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2924回	第2921回
例会日	10月26日	7月27日
① 会員数 A	37	37
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	29	29
③ 出席義務者出席数	20	19
④ 出席免除者出席数	4	5
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	9	10
出席率 %	72.73%	77.14%

出席率 (2924回) ③+④/②+④ 出席率 (2921回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・国際ロータリー第2660地区より
「国際奉仕活動推進のための情報交換会の案内」が届きました。
- ・〈公財〉米山記念奨学会より
「米山奨学生のバストラ・スミタさんの一時帰国申請受理の報告」が届きました。
バストラ・スミタさんは、11月27日より1年半ばまで研究活動のため、母国ネパールに一時帰国されます。

掲示板

- ・第5回定例理事会
日時：11月2日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー “さくらの間”
 - ・クラブ職業奉仕委員長会議
日時：11月6日(土) 午後
場所：大阪YMCA国際文化センター(予定)
 - ・職場見学と秋の家族会
日時：11月11日(木)
場所：和久傳の森美術館と福知山城
 - ・ガバナー補佐訪問1回目
日時：11月16日(火) 12:30~
場所：ホテルアイボリー3F
- ※会長・幹事の事前懇談会は12:00からです。
- ・クラブ協議会
日時：11月16日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー1F「かやの間」
- ※クラブ現況をお持ちください。
- ・ガバナー公式訪問
日時：11月30日(火) 12:30~
場所：ホテルアイボリー3F
- ※理事・役員の事前懇談会は11:20~12:20です。



11月のお祝い

皆出席

村司会員 21年 北村会員 17年

会員誕生日

森本 博明 会員 S. 35. 11. 3
谷野 桂子 会員 S. 14. 11. 2
狩野 裕 会員 S. 33. 11. 11

ご夫人誕生日

田中 正一 会員 清 子夫人 11. 28
矢野 昭 会員 衣 代夫人 11. 24
志水 清紀 会員 友 基子夫人 11. 30

ご結婚記念日

豊島 了雄 会員 S. 56. 11. 10
松尾 宗好 会員 S. 47. 11. 24
南 浩暁 会員 H. 13. 11. 19

R 財団寄付 ベネファクター表彰

岩本洋子会員



米山寄付 第6回マルチプル表彰

松山辰男会員



第3回豊中ロータリークラブ ZOOM 談話室報告

開催日：令和3年10月26日 20:00~21:30

参加者：岩本、小川、北村、米田、原、松山、宮田、森本(敬称略)

話 題：

- ① ZOOM 談話室について
今後も継続して行い会員各位の考えを聴く場になりたい。森本年度の目玉にしたい。
例会の前日に行う。お酒 OK で気楽に参加してください。(森本)
- ② こども食堂について
地域における重要な課題であるのでより発展させてはどうか。豊中市の他のロータリークラブでも子ども食堂を支援されているので、各クラブがばらばらでおこなうより連携して行うようにすれば社会へのインパクトも強く、また、公共イメージ向上にもつながるのではないかと。今年はカレーレトルトを送ってはどうか。
- ③ これからの奉仕活動として大学生への支援や孤独高齢者への支援を検討してはどうか。
- ④ 年末家族会の予算について
- ⑤ ロータリークラブ行事への留学生の招待について
- ⑥ 次期会長の選考について

紙面の都合上、詳細は省略します。多くの貴重なご意見を頂きありがとうございました。

次回の ZOOM 談話室 令和3年11月29日(月)

20:00より(ガバナー訪問前日)

事前に各位のメールアドレスに案内状を送ります。

(文責 北村公一)

「ベビーシッター」

～核家族化における親の負担と、これからの育児を考える～

卓話担当：谷野桂子 スピーカー：加味貴子



核家族化において、育児スタイルも変化してきている昨今。親の負担も変化せざるを得ないのが現状となっていると思います。昭和の時代、2世代、3世代で同居していることは、ごく、一般的でした。共働きであったとしても、祖父母にお願いすることも可能でした。現在、核家族に加え、両親と遠く離れて生活をしておられる子育て世代が多く、いざという時に、親にお願いできない為、仕事にも支障を来たしているご両親が、沢山いらっしゃいます。

私が「ベビーシッター」を知り、その仕事に従事しようと考えたきっかけは、コロナ流行で、幼稚園が閉鎖となり、当時幼稚園児だった息子を預ける事も難しくなり、仕事にも支障を来たしていた時、テレビから「ベビーシッター」のニュースが流れてきました。NHKが「待機児童問題」の特集で、ベビーシッターを推奨するものの、人数も十分ではなく、実際に利用するのが難しいといった内容でした。東京方面では、核家族、共働きも多く、待機児童がかなり多く、東京都で、「東京BS(ベビーシッター)」という事業を起こし、都が助成金を出して、待機児童のご家庭にベビーシッターを派遣するといったシステムが開始されています。首都圏では、利用者も、どの地域より、気軽にご利用されている様です。全国的には、「政府補助」の形で、上限や条件はありますが、ベビーシッターを使う際、補助金が受け取れるシステムもあります。会社がそれに申請している所もある様です。コロナ渦以前は、熱が少々あっても、預かってもらえた施設も、今は、熱が下がっても、鼻水や咳が残っていると、眉をしかめて預かってもらえない状態です。保育施設も、多くのお子様を預かっている責任上、仕方のない事と思います。費用も、私が預けていた認可外保育園よりも安く、「送り迎え」が不要、というのも魅力の一つと思いました。

子供の体調とは別の理由から、コロナの影響でベビーシッターを利用するケースも出てきました。夫の収入が減り、妻である私も仕事をする事となり、面接があるので、その間、子供と遊んで欲しい、といったものでした。

私が登録をしている「キッズライン」という会社でのアンケートで、「子供に望む事」といった特集がありました。

1位は、「子供の個性を伸ばしたい」でした。ベビーシッターは、「その子」と、1対1の関係です。その子だけに当てはまる、オーダーメイドの関わりがメリットの1つだと思います。そして、一風変わったモノだとしても、そのご家庭のルールを尊重する事は大原則です。利用する方は、色々なベビーシッターから、自分の条件に当てはまるベビーシッターを見つけ、依頼し、互いの条件を提示し、合意すると、依頼成立となります。

「ベビーシッター」は、「認可外保育施設」に位置付けされています。「個人事業主」として、開設の届け出をして、定期的に自治体に「運営状況報告」や、監査、立ち入り調査等で、ご指導をいただいております。よって、法に則った事をする義務があります。急変時や事故の際の心肺蘇生や、救急車の手配等もその一つです。急変時の研修は必須で、「キッズライン」で働くベビーシッターは全員、その講習を受けています。又、数年後、法改正があり、ベビーシッターに従事する者は、国が指定する「資格」がなければ出来ない。という事となります。現在、「ベビーシッター」は、特別な資格が無くても、誰でも出来る事となっております。これまでよりも、専門知識を備え、職業意識を強く持ったベビーシッターが中心となる事で、より、安心感を持って子供を預けられる様になります。利用者は、施設かベビーシッターかを自由に気兼ねなく選択できる様になり、それぞれのご家庭に応じたニーズで、「個性」を伸ばす教育、育児が可能となると思います。

育児は、家族だけでする時代ではなくなりました。ご両親の育児面の負担を、少しでも軽減する事は、明るい未来に繋がるとも思います。「子育て中なので、親の人生は2の次」といった考えも、如何なものでしょうか。親が自ら「自分らしく生きる」姿をみせる事は、「子供の個性を伸ばす」お手本にもなるのではないのでしょうか。ご両親が明るく元気でイキイキしていれば、おのずとお子様もご機嫌になり、ご家庭も明るくなる傾向があると思います。主婦であっても、いつも明るく綺麗なママは自慢したいですね。そして、その「綺麗」な親を観て、子供は嬉しく思っている様です。

少子化の時代、子供は以前にも増して、社会の宝です。もちろん、ずっと昔から、宝であることには変わりません。社会全体で、よりよい育児ができる世の中になって欲しいと、思っております。

◎副幹事・副SAA当番◎

11月副幹事 宮田幹二会員
11月副SAA 田畑榮彦会員

☆11月受付当番☆

チーフ：松本拓朗会員
11月 2日 原 和永会員、南原 淳会員
11月 16日 豊島了雄会員、眞下 節会員